

～女子学生のわらび餅の認知度と消費について～

令和5年度地域政策研究センター 地域協働研究【ステージⅠ】採択課題

課題名：西和賀産わらび粉の新用途の開発と認知度の向上

研究代表者：盛岡短期大学部 長坂慶子

課題提案者：やまに農産株式会社

研究メンバー：岩本佳恵（盛岡短期大学部）、晴山聖一（岩手県工業技術センター）

技術キーワード：地域資源、わらび粉、認知度向上、新用途開発

▼研究の概要（背景・目標）

わらび粉は、かつては全国で生産されていたが、現在は西和賀町を含む数力所に減少した。日本の伝統食材であるわらび粉の食文化を伝える必要がある。若い世代のわらび餅に関する認知度、イメージおよび消費行動に関する調査を行い、現状の分析と課題を明らかにする。

▼研究の内容（方法・経過）

- 1.調査対象：岩手県立大学の学生211名
- 2.調査内容：わらび餅に関する基礎知識、わらび餅のイメージや購入先などに関する18問
- 3.調査期間：2023年7月～10月
- 4.調査方法：無記名自記入式質問紙調査

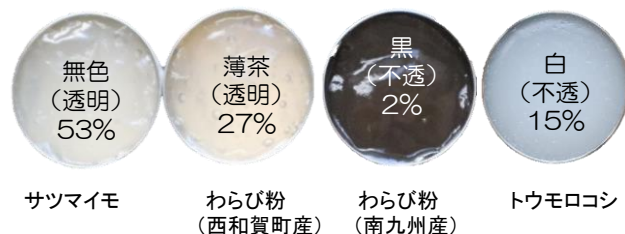
▼研究の成果（結論・考察）

- 1.調査用紙の回収率は100%。全員がわらび餅を知っていた。そのうち食べたことがあるのは85%だった。
- 2.わらび餅の原料がわらび粉と回答したのは26%だった。また、食べていたわらび餅は、53%がさつまいもでんぷんから調製したわらび餅と考えられた（結果1）。
- 3.わらび餅を食べる世代のイメージでは、57%が全世代で、若者は7%と低かった（結果2）。
- 4.わらび餅やわらび餅が入ったお菓子の価格は普通と考え、わらび餅が入った飲み物は価格が高いと感じていた（結果3）。購入先としてはスーパーやコンビニが40%を占め、飲み物は専門店で購入していた（結果4）。

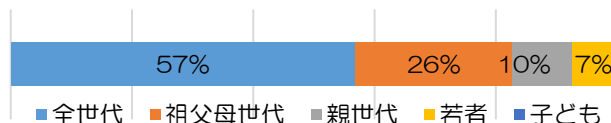
▼おわりに（まとめ・今後の展開）

- 1.学生は、昨今のブームでわらび餅は知っていたが、由来や原料についての知識はない。商品によっては高価格とを感じるものもあった。
- 2.わらび粉を使った商品開発では、商品にストーリー性をもたせて、若い世代に興味関心を持ってもらえるようにするとともに、購入しやすい価格設定についても検討する必要がある。

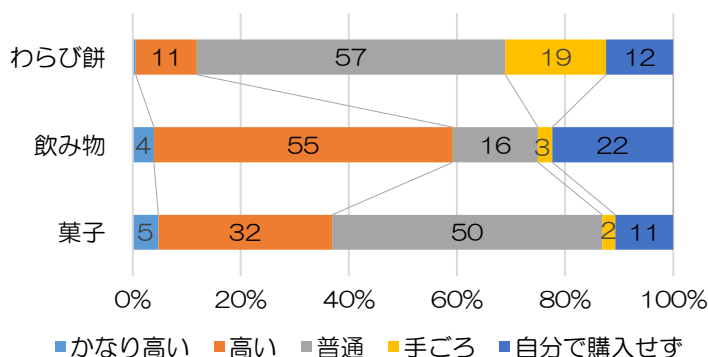
結果1 食べたわらび餅の特徴と原材料



結果2 わらび餅を食べる世代のイメージ



結果3 わらび餅・わらび餅の入った飲み物・わらび餅の入った菓子の価格について（複数回答）



結果4 わらび餅・わらび餅の入った飲み物・わらび餅の入った菓子の購入場所（全体）

